

外 来 の 現 状

外来婦長 岩井 照代

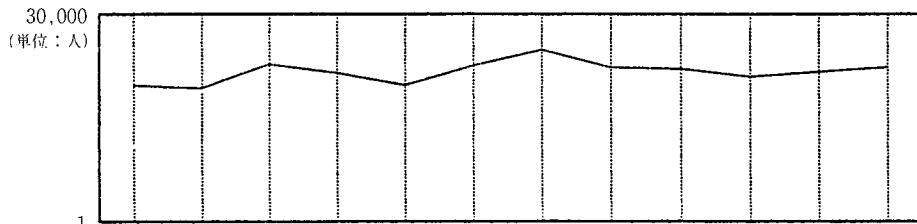
現 状

名寄市立総合病院は平成4年6月に新病院となり、外来診療も10科から脳神経外科の新設により11科となり、皮膚科の固定、耳鼻科の充実、人工透析の新設などで患者数の増加を見えています。内科外来から内視鏡検査係を独立させ、高度医療機器の導入による特殊検査件数の増加に対応し、各外来においても専門的検査の増加などセンター病院としての機能が充実されつつあります。外来スタッフとしても独自に各外来の設備の勉強会、院内研修、脳外科の勉強会、新規医療機器の取り扱い説明会、診療報酬の勉強会への参加、研修を兼ねた他科外来への助勤などにより知識を深めてきました。それにより救急外来の対応もスムーズに行えるように努めて来ました。また看護の継続性をもつた

めに、朝の引き継ぎを行い、時間外の患者の状態を日勤にと継続させる努力をして来ました。外来の看護は短時間で患者を把握し、適切に診療の介助・処理を行い、その中に患者把握による看護がある、というコミュニケーションが取れなければ難しい場所です。当外来のスタッフはベテランが多く立派におこなわれています。

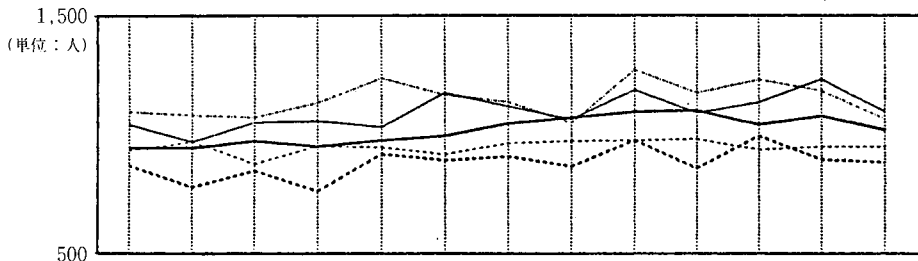
これからの指針

平成5年度は1日の外来患者数は平均923名、7月に完全週休2日制となってからは平均1,070名と増加しました(図1)。月曜日(平均1,139名)と金曜日(平均1,176名)の外来患者数が多く、水曜日(平均962名)と木曜日(平均923名)には少数でした(図2)。この要



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
19,572	19,159	22,654	21,401	19,661	22,474	24,807	22,217	22,045	20,924	21,580	22,303

図1. 平成5年度 外来患者数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
— 月	1,042	971	1,051	1,059	1,031	1,177	1,120	1,065	1,189	1,093	1,138	1,234	1,098
— 火	944	944	974	950	976	996	1,048	1,072	1,098	1,104	1,043	1,080	1,019
----- 水	930	971	873	950	945	914	963	973	976	982	935	947	947
----- 木	867	775	844	758	916	889	905	862	975	854	996	891	878
----- 金	1,098	1,084	1,075	1,135	1,239	1,170	1,140	1,049	1,273	1,177	1,233	1,187	1,068

図2. 曜日別 外来患者数 (平成5年度)

困としては、各科外来の診療体制が曜日毎に異なること、土・日曜日の連休中の発病と休日前の不安感が考えられます。患者数の増加に対してはスタッフをそろえて対応していますが、待ち時間の延長と忙しさによる患者サービスの低下をきたしがちです。看護補の導入、再診予約制の試行など各部局、各科医師の協力により外来における看護の見直しが必要と考えています。現在はインフォームドコンセントの必要性が問われている時代であり、患者さんが待つという不満を和らげ、納得していただけるような対応が必須であります。今

後も職員各位のご協力を得て、スタッフ全員で努力して行きたいと思っております。

平成6年度からは教育委員会を設けて、いろいろな医療機器・内視鏡検査・透析処置・新しい科の勉強会などを定期的に行っており、パンフレットを充実させ患者サービスを図りたい。研究発表も1年に1つを目指して取り組んでいます。接遇研修は自治体の研修を受けている看護婦が多く、再度皆で確認しあい、より充実したものにしたいと思っています。

内科外来検査系の活動状況

内科外来検査係

門馬 邦子 榎田 敏枝 内堀 奈津子 石崎 久美子
河上 智子 佐々木 豊子 早瀬 恵子

新病院に移ってから私たちの業務内容が、少し変わりました。

内視鏡検査・血管撮影検査等を担当することになりました。旧病院の時は、内科外来のスタッフとして外来業務、内視鏡検査等を回り番で行っていました。新病院に移ってからは5名の看護婦で、検査を主に担当することになりました。内視鏡検査に関しては以前から行なっていたが、血管撮影検査に関しては内科外来の業務の中で数件関わった程度でしたので、ほとんど何もわからない状況の中からはじまりました。

旧病院の養成所の教室で脳神経外科の中井先生が勉強会を何回かひらいてくれましたがなかなか身近なものに感じられず、戸惑い気味で講義を聞いていました。そして新病院に移りました。

血管撮影室がまだ使えない時に血管撮影対象の患者が搬送され、透視室の中で脳血管撮影検査が行なわれました。中井先生、徳光先生に御指導をうけながらなんとか検査をおわらすことができました。

その後血管撮影室がスタートしましたが、第一内科・脳神経外科・第二内科・外科・泌尿器科といろいろな科で血管撮影検査が行なわれています。別表にも記されていますが、月平均30例近くの検査が行なわれて

いますが、それぞれの科の先生方に御指導・御協力を受けなんとか今日までできています。

又、私たちのもう一つの業務である内視鏡検査も検査内容が徐々に拡大されてきています。旧病院でもGF・CF・ERCP・BF等の検査を主に行なっていましたが、現在では以前行なっていた検査の件数も増えてきています。他にEUS・EIS・EMR等の検査内容も増えてきています。寺沢医長はじめ第二内科の先生方の御指導を受けながら、業務を行なっています。

以前は、GF・腹部エコーの外来患者の検査の時には朝はやくきた順番に検査を行なっていましたが、いくらでも待時間を短縮しようと先生方と相談して予約制にしました。他に内視鏡室全体の雰囲気作りとしてBGMをながして、いくらかでも緊張感を解消できればと思っています。

以上のような工夫等も考えて患者の苦痛・緊張感をいくらかでも緩和できるように、これからもスタッフ一同がんばって業務を行なっていきたいと思っております。

尚、平成4年4月より平成6年2月迄の検査件数をグラフにしましたので御参照いただければ幸いです。

最後に私たち看護局のスタッフにも、病院誌に発表する機会を与えて戴きありがとうございました。